



発行：青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課
〒030-0801 青森市新町1丁目3-7
TEL：017-718-1376 FAX：017-718-1371
E-mail：bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

— 新型コロナ対応 2 年目 どんな対策に取り組むか —

第 1 回地域学校協働活動推進員研修会を終えて

7月2日(金)に沖館市民センターにて地域学校協働活動推進員（以下推進員）第1回目の研修会を開催し、11名の方に参加いただきました。

まず、「はじめの一步+ α （アルファ）」という演題で出崎真里推進員の講話がありました。●推進員の仕事と役割、●今年度の協働活動の流れ、●（コロナ禍における）今年度

の実施事例紹介を主な柱に、今年度の協働活動の進め方について具体例を挙げながらお話していただきました。特に新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら支援活動を進めた事例や、学校関係者や地域の方に推進員の仕事を周知していく手立て、実際に配付したチラシを用いたボランティア募集の説明など、今年度推進員になった方にはとても参考になることばかりでした。

次に、事業担当から、報告書等の作成に係るパソコンの操作方法について説明がありました。今年度から変更となった様式もあり、参加した推進員の皆さんは、メモを取りながら話を聞いていました。



その後のグループ協議では、4~5人のグループに分かれて、自己紹介、年度初めの取組で悩んでいることなどを話し合い、全体で共有しました。日頃の活動で感じている悩みや疑問を話し合ったり、他校の活動の進め方を聞いたり、長く経験を積まれた推進員と様々な情報交換をする場合は、推進員の皆さんにはとても有意義だったようです。

全体研修終了後、個別相談の場を設けましたが、何人もの方が会場に残り、予定時間を超えて熱心に質問していました。

参加した皆様からいただいたご意見やアンケート結果を生かし、今後の研修会も充実したものにしていきたいと考えています。今後実施される研修会への積極的な参加を期待しています。

子どもの学びを支える地域と学校との協働体制（新生 北小学校）

北小学校は、令和2年度に西田沢小学校、奥内小学校、後潟小学校が統合して誕生した学校です。統合以降、小学校と3つの地域が今まで以上に連携し、様々な活動に取り組んでいます。また、今年度より北中学校区がコミュニティ・スクール設置校区（以下CS）となり、小学校と中学校との連携、小学校・中学校と地域との連携を図る活動にも取り組んでいます。

今回は、北小学校の松浦校長先生と吉田秀子推進員から、これまでの活動やCSとして今後取り組みようとしていることについてお話を伺いました。併せて、北中学校の中村校長先生から今後のCSを活用した地域との連携についてお話をお聞きました。

北小学校（協働活動）の取組



北小学校 松浦校長先生のお話

本校では、児童に「ホンモノ体験」を提供する教育活動を進めています。そのためには地域の皆さんの協力が不可欠です。吉田推進員は先生方からの要望を受けると、その都度最適な地域のボランティアを紹介してくださいました。加えて、協働活動を実施する際には、改善点を学校に提案してくださるなど、まさに支援に止まらない「連携」活動を一緒に進めています。（写真左 松浦清晴校長 吉田秀子推進員）

クラブ活動は全部で6つあります。そのうちの4つのクラブの講師は地域のボランティアです。（写真右 日本の文化クラブの活動）

4月にクラブ活動の希望アンケートをとり、それを受けて吉田推進員が地域の方に講師をお願いするなど、地域とのネットワークが活用されています。また、学校花壇の整備には、主として地域のJA婦人部（奥内・前田・清水町会）、北後潟赤十字の皆さんのご協力をいただいています。（写真下左 花壇整備活動）



吉田推進員のお話

学校の雰囲気がとても良く、職員室で先生方と親しく話ができます。校外学習の見守りやクラブ活動の講師の紹介等が円滑に行われるよう、学校担当者との事前打ち合わせを大切にしています。ボランティアの方々からは「一緒に活動して楽しかった」「お礼状をもらってうれしかった」などの声があり、今後も子どもたちのために、様々な地域の人や外部団体を学校に繋いでいきたいと考えています。

北中学校区（CSとして）の取組

北小学校 松浦校長先生のお話

今年度より北中学校区で学校運営協議会を設置しました。協議会で町会長さんや団体の代表の皆様と話し合いの場を何度も持つことで、昨年度よりも広く地域に学校の考えが伝わるようになったと感じています。地域全体で子どもたちを見守り・育てるためにできることはたくさんありますが、急ぐことなく、みんなで共通理解をしながら一つずつ進めていきたいと考えています。

北中学校 中村校長先生のお話

本中学校区に学校運営協議会が設置され、地域の方々や保護者と連携して、小・中9年間を見通して子どもたちを育てる話し合いを4月から進めています。豊かな自然が広がり、教育活動に協力的な地域である本学区ですが、子どもたちのためにできることを協議し、まずは、部活のクラブ化と登下校時の児童生徒の見守り体制づくりに取り組んでいます。吉田推進員と相談しながら、地域の皆さんとのネットワークを広げて、CSの機能がしっかりと発揮されるよう活動を進めていきます。

北中学校区 吉田推進員のお話

中学校区の推進員としては、地域と学校を繋ぐだけでなく、小中一貫校に指定されたこともあり、北小学校と北中学校を繋ぐ協働活動に、スムーズに取り組むことができるようになりました。さっそく、今まで活動がなかった北中学校の図書室整備に着手し、まずは友呼びでボランティアへの声掛けをし、小学校図書ボランティアのメンバーの協力もいただきながら活動することができました。また、推進員は学校運営協議会に委員として参加するので、その場で話し合いの結果が具体的な活動に繋がるように提案をしていけたらと思います。今後も、地域の様々な力を結集できるよう活動していきたいです。